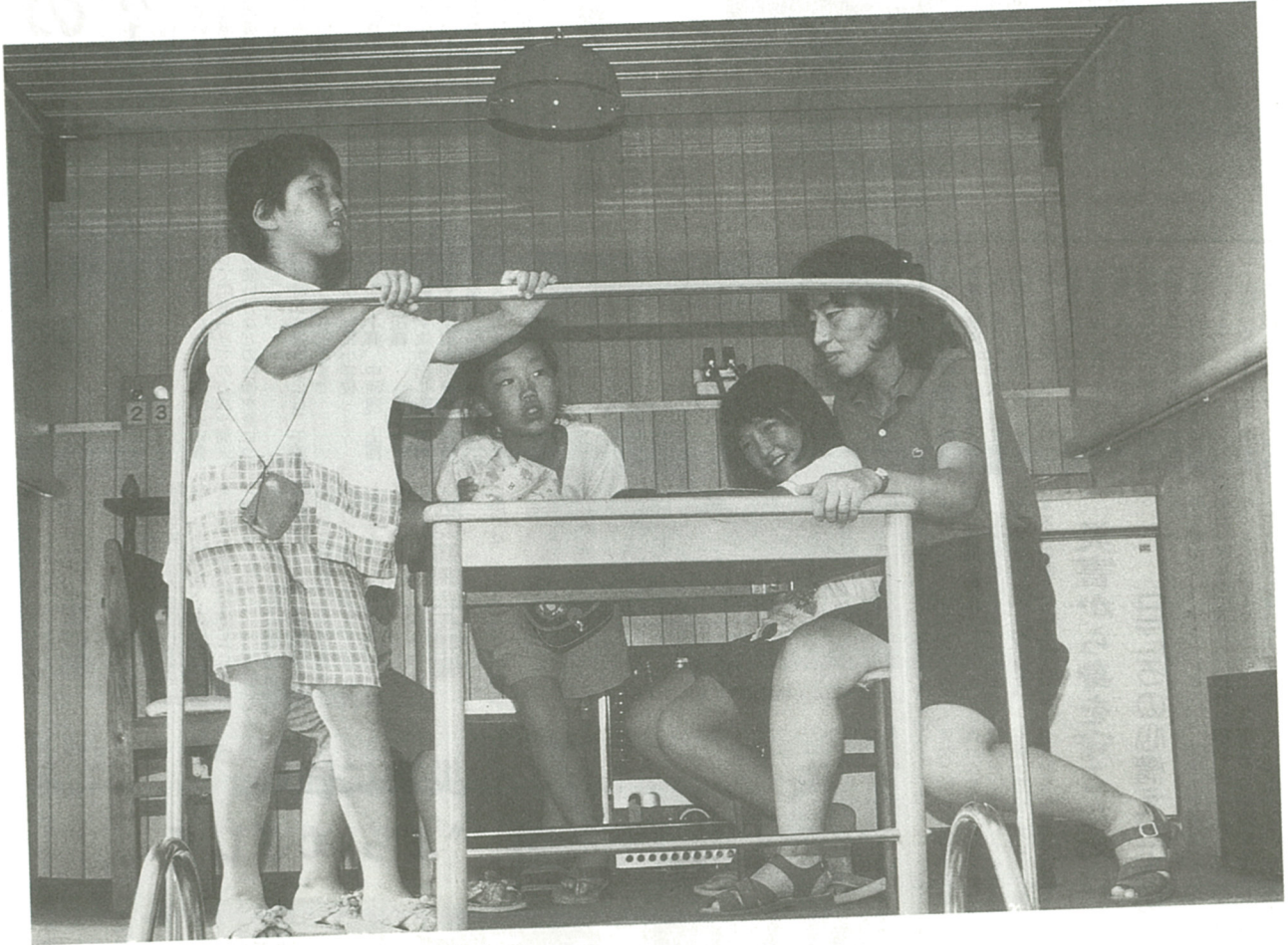




広報 えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



つがまら ときたら

防災計画の早期見直し

9月1日は、「防災の日」。今年、1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、建物の倒壊、高速道路や新幹線の損壊とともに各所で大きな火災が発生し多くの尊い命や財産が一瞬にして奪われてしまいました。地震はいつ起こるかわかりません。そこで現在、市では直下型地震による都市災害に備えて、海老名市地域防災計画の検討見直しを行っています(2面に関連記事を掲載)。

海老名市地域防災計画は、昭和39年に策定して以来、社会情勢、都市構造の変化などによってさらには東海地震や神奈川県西部地震に対応できるものとするため、何度となく改正を行ってきましたが、現在、海老名市では、阪神・淡路大震災のような直下型地震で都市型災害に対応できるように市地域防災計画の細部の点検や見直し作業を行っています。

同計画の見直しの内容は、市の関係部署からなる検討委員会、設定した13の検討重点項目を9班の検討作業班で、検討案を作成しています。この計画は、平成7年度のできた後、早い時期までに見直しを完了する予定で、国の防災基本計画や、神奈川県地域防災計画との整合性も含め、市防災会議において検討し決定します。



阪神大震災の被災地(1月21日撮影)
①職員の出動体制、指揮命令系統
②救護物資受け入れ配送、生活必需品機材の確保
③道路交通対策
④ボランティア活用対策
⑤災害弱者・医療対策
⑥避難場所運営責任体制
⑦仮設住宅建設
⑧情報収集・伝達システム、広域協力体制
⑨自主防災組織育成充実。
なお、阪神・淡路大震災による被災地に対する、市民の皆様への義援金の受け付けは4月17日で終了しましたが、その後お寄せいただいた7月10日現在で合計3千93万5千488円になりました。ありがとうございました。

つがまるのが精いっぱい

みなさんは、突然、グラッ!ときたら、まず、どのような行動をとりますか。先日行われた、えびなふるさとまつりの消防コーナーの起震車で広報モニター土屋隆子さん(写真右)と子供たち正大正12年9月1日に発生した関東大震災と同じ震度の地震を体験してもらいました。「怖かったです。激しい揺れで、動けなくなつてしまっているのが精いっぱいでした。もし、関東大震災と同じ位の地震が起これたら、火の元栓を止めるのも難しいのでは。やっぱり、日頃からの備えが大切ですね」との感想が聞かれました。

地震への備え再確認

9月1日は「防災の日」

もし、いざ地震が起きたら...阪神・淡路大震災から半年が過ぎましたが、今なお多くの人々が不自由な生活を強いられています。

この震災による被害は、死者4万人、建物約30万棟、交通施設や電気・ガス・水道のライフラインも壊滅的な被害を受け、戦後に起こった地震災害としては最大規模となりました。

被害が大きかった原因は、建物や都市機能が密集する大都市を大規模な地震が襲ったためです。1つの要因として、この地方では過去に大きな地震の発生がなく、地震の多発する地域と比べ地震に対する認識、防災意識が乏しかったことが上げられています。

総合防災訓練に参加を

市では、次のとおり「総合防災訓練」を実施します。いざというときのために、積極的に参加して応急手当の方法や消防火器の使い方などの技術を身につけておきましょう。

▽日時 9月3日(日)午前9時30分から正午まで
▽場所 有馬小学校
▽対象 本郷、中河内、上河内自主防災組織

▽内容 炊き出し訓練、給水訓練、初期消火訓練、応急救護訓練など。ほかにも、地震車、ヘルメットによる体験コーナーや、災害用伝言ダイヤルなどを実施します。



初期消火訓練を行う参加者たち(今年の総合防災訓練で)

市は、防災資機材の整備・非常用飲料水・非常用食料・生活必需品の確保・防災無線の整備など防災体制の充実、強化など地震に強いまちづくりを進めており、被害を最小限に食い止めるには、市民一人ひとりが日ごろから地震に対する心構えや地震発生時の自主防災組織や地域ぐるみの防災活動が非常に重要になります。

市民の皆さんには、次のことに注意して備えをしてください。



日ごろから防災知識を身につけることが大切

災害に強い「まち」めざして

市では、地震や台風など、あらゆる災害に対して被害を最小限に食い止め、的確・迅速な対応ができるよう、水防訓練(写真上、5月28日、市役所西側催事広場)、消防操法大会(写真右、7月16日、市役所西側催事広場)などを行っています。その他、各自治会でも初期消火訓練などを行い、自主防災組織の強化に努めています。



市では、地震や台風など、あらゆる災害に対して被害を最小限に食い止め、的確・迅速な対応ができるよう、水防訓練(写真上、5月28日、市役所西側催事広場)、消防操法大会(写真右、7月16日、市役所西側催事広場)などを行っています。

☆地震に備えて

①火災を出さないために: 火元を離れる時は火を消す。ガスの回りに燃やさない。火災警報器を設置し、定期的な点検を行う。

②けがをしないために: 家具などは金具などで固定して倒れないようにする。たんず、棚の上にも重いものや飲み物の置き場所を確保する。プロック等は安全係数として補強・改修する。

③生活を持続するために: 飲料水(1人1日3リットル)、食糧は3日分程度備蓄しておく。床上コンロ、固形燃料、近所の協力。

災害から身を守るために

☆地震が発生したら

①身の安全を守る。②火の始末③あわてて外に逃げ出す。④出口の確保⑤ガラスの破片に注意⑥余震に注意⑦隣近所の協力。

「心にひびく夏」を実感

えびなふるさとまつりに17万人



平和を願う「折り鶴」を作るコーナーも...



一糸乱れず、息もぴったり県警カラーガード隊のドリル演技



みこしの登場でまつりも最高潮に

7月29日、30日の両日、市役所倉庫周辺で、心にひびく夏まつりをテーマにした第20回えびなふるさとまつりが行われました。連日の猛暑の中、2日間で延べ17万人の市民が会場を訪れ、はやし、みこし、盆踊り、各種模擬店や花火大会などを楽しみました。このまつりの様子を広報モニターの高橋幹夫さんに取材していただきました。

みんなのでワッシュヨイ

「ドン、ドン、ドン、カラカッタ。」

「ドドス、ド」やぐら太鼓の乱れ打ち...まつりを告げる打ち上げ花火に誘われて、続々と集まるお客さん。揃いの浴衣や浴衣姿のお客さんや、やぐら周辺を回り、はやし保存会の観覧による引き返し、県警音楽隊やエスタバンドそして和太鼓などの見事な演奏、その他ゲーム大会、スイカ割り、おの見たて参加したりで、大はしゃぎ、ステージ周辺ではマジックショーやジャズダンスなど各演技に大きな拍手がわいていました。

花火千100発

二日目の前日に続く好天気、まつり会場は老若男女、チビ子たちで大にぎわい。今日の催し物は、はやし、みこし、盆踊り、花火大会、大道芸、仮装行列、はよしの観覧、またチビ子に人気の超力戦隊オレインジャーのショー、SL、パッテリーカーのコーナーも超人気。大人の楽しみカラオケ大会など、目指す催事場の前で、それぞれの演技に「一喜一憂、大きな笑い声や拍手がわいていました。夜になって、まつり、うちはかせないみこしの出番、うちわ片手の盆踊りと続き、いよいよ盆踊りの最後を締めくくると、花火の打ち上げ。千100発の花火が打ち上げ、夏の夜空にきれいにひらいては消えていった。楽しい「ふ

姉妹都市・白石市の伝統工芸「けし」の製作実演

この猛暑の中、参加される人見物に来られる人も大変ですが、なにより盆踊り実行委員の方々の苦労は女ならぬものがあり、心から感謝を申し上げ、二日間わたった取材を終りました。

まち全体となるというところが、難しい点もあるかと思いますが、せっかくのふるさとまつりです。このまつりを楽しく、帰省や里帰りを促すという生活行事になつたらいいと思います。(高橋幹夫)

海老名名かしばなし

電話で海老名の昔話が聞けます

33 33333333

第二次世界大戦末期、日本軍は本土決戦に備えて県下至る所に陣地を構築したが、敗色濃くなったある日、陸軍の某参謀が県庁へ来て、相模川を破壊した場合は影響と及ぼす範囲を研究せよと言った。この時、参謀が同氏は、その著(注)の中で、そのことをはつきり指摘している。ダムを爆破して相模川に進入する上陸軍を一気にせん滅する泥濘作戦を計画したものであったという。もしこれが実行されたら、空襲こそではない。流域の町々に見る影もなく荒れ果て、何万何十万の非戦闘員が犠牲になつたことであろう。濁流が家も人もごみくずの押し流す情景を想像しただけでも毛骨立つ。安穏な生活になれた「自然のこぼれ」も知らぬが、故きを温ねて新しきを知る、は人生の常道である。過去を見据えてこれを現在に照らし、世に伝えることは経験を重ねる者たる者の責務であり、そこにも昔ばなしの意義があると思う。

老齢化する社会では、介護を必要とする人たちが益々増えることだろうから、大川添いの住宅や低地に居住する人たちは、水災に対してもいざという場合の対策を検討して物心共に準備しておく必要がある。

注 厚木郷土誌文庫 七集 必要 読物厚木の歴史 非売品 昭和五十三年九月発行 著者 鈴木茂 県史談会副会長。

(小島 直司)

いしかわ しゅうと
石川 尚人くん 1歳1ヵ月



こんにちは、しゅうとです。僕の車、かっこいいでしょ。毎日、僕はこれを楽しんでいるんだ。最近、水泳教室に通い始めたばかりなんだけど、水が苦手。毎日、中央公園へ遊びに行くと、水に慣れる特訓中です。
(中央 石川健郎・貴子さんの長男)

こばやし かのこ
小林 佳乃子ちゃん 1歳1ヵ月



こんにちは、かのこです。毎日、お兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に水遊びをしています。時々、けんかしてたたかたりするけど泣かないし、負けないで私もやりかえすの、強いでしょ。でもお母さんがいないと泣き出しちゃうの...
(国分寺台 小林清隆・夕子さんの二女)

まんきるおぼろ

1日図書館員を体験

本が大好き!という市内の小学5・6年生が有馬図書館で、7月25日・28日と8月2、3日の6日間、1日図書館員を体験。1日に4~8人の計44人が、本の貸し出しや返却、書棚の整理などを行った。



フォトピックス

コイの稚魚を放流

7月26日、海西北地区の4つの子ども会の子どもたち90人が、「元気に育ってね!」と、相模川にコイの稚魚千200匹を放流した。また、川底の生物を採取して、川の水がどれくらいきれいかを調べる水質調査も行われた。



カブトムシに触ったよ



7月27日、上今泉秋葉台の緑地で小学生を対象に、市青年会議所主催の「かぶと虫体験ツアー」が行われ70人が参加した。子どもたちは「この森がカブトムシでいっぱいになってほしいな」と、カブトムシの角に触れながら楽しそうに眺めていた。

ナイトウォークラリーに445人

懐中電灯と地図を頼りに市内約12kmを回るナイトウォークラリーが7月23日に行われた。午前零時に市役所をスタート。各チェックポイントを通り、午前4時過ぎにはほぼ全員がゴールした。



☆ 第一展示室

期間	内容	時間	入場方法	主催者
2(土)~4(月) 6(水)~10(日)	第22回協会展	午前10時~午後6時 (10日は午後3時まで)	自由	海老名市美術協会 (38)2524

☆ 第二展示室

期間	内容	時間	入場方法	主催者
2(土)~4(月) 6(水)~10(日)	第22回協会展	午前10時~午後6時 (10日は午後3時まで)	自由	海老名市美術協会 (38) 2524
20(水)~24(日)	カワムラ絵画 展	午前10時~午後6時 (24日は午後3時まで)	自由	カワムラ絵画塾 (38) 3226
25(月) 27(水)~30(土)	鎌倉彫染形展	午前10時~午後6時 (25日は午後1時から 午後6時まで)	自由	染形会 (31) 4142

○今月の休館日は5、12、19、26日です

9月の市民ギャラリー 035・0366

田村高広 特別公演 「無法松の一生」

▽日時 9月9日(土) 午後5時~8時▽会場 市文化会館(云32・323) 1▽入場料 A席5千円、B席3千500円(全席指定) 好評前売中!▽主催 市・市文化会館事業協会。 ※自主事業チケット販売 ださい。

☆ 大ホール

日	内 容	開演	終演	入場方法	主催者
3(日)	杏バレエ教室第10回発表会	午後 4時	午後 6時30分	自由	杏バレエ教室 (31)1310
4(月)	第49回低学年例会 どん亀座 [キマダレ・サーカス・パートII]	午後 2時30分	午後 4時	会員制 (当日入会可)	海老名おやこ劇場 (32)0307
9(土)	田村高広特別公演 ~無法松の一生~	午後 5時	午後 8時	A席4000円 B席3500円	市文化会館事業協会 (32)3231
15(金)	バレエ発表会	午後 4時	午後 7時	自由	石村容子バレエスタジオ 03(3414)7037
17(日)	岳風会神奈川地区大会	午前 9時30分	午後 8時	自由	詩吟学院岳風会神奈川地区 (38)1741

☆ 小ホール

日	内 容	開演	終演	入場方法	主催者
3(日)	ピアノ発表会	午後 1時	午後 3時30分	自由	守安しのぶ 0463(77)1797
10(日)	ピアノ発表会	午後 4時	午後 7時	自由	田中真智子 (31)5528
30(日)	県立ひばりが丘高校吹奏楽部 第1回定期演奏会	午後 6時	午後 8時	自由	県立ひばりが丘高校吹奏楽部 (55)2555

9月の文化会館

○問い合わせは主催者へ。○主催者の都合で変更になる場合もあります。○関係者だけの催しは掲載していません。○今月の休館日は5、12、19、26日です。